

令和5年度指定管理者評価シート

1 管理運営の状況等

(1)施設名	さいたま市地域中核施設プラザノース
(2)施設概要	<p>①所在地 さいたま市北区宮原町1丁目852番地 1</p> <p>②施設の設置目的 市民の生涯学習及び芸術文化情報の発信の場として地域の活性化や地域づくりを支援する活動拠点になるとともに、地域特有の文化資源である漫画をもとにした芸術創造・ユーモア機能を活かした多彩な事業を展開する。</p> <p>③施設の概要(敷地面積:26,015㎡、延床面積:20,278㎡、地上4階建て) 文化・芸術・レクリエーション等の活動の場として地域の拠点となる複合施設 主な施設: ●北区役所●北図書館●ホール(403席)●楽屋(5室) ●リハーサル室(3室)●多目的ルーム(227席)●音楽スタジオ(3室) ●和室(4室)●書斎(5室)●キッチンスタジオ●セミナールーム(7室) ●陶芸アトリエ●絵画アトリエ●造形アトリエ●CGアトリエ ●交流スタジオ●ノースギャラリー(8室)●ユーモアスクエア ●自由読書スペース●映写室●遊戯室●託児室●駐車場(183台) 等</p>
(3)指定管理者	J&I共同事業体
(4)指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 令和5年4月1日～令和10年3月31日</p> <p>②指定管理料 令和5年度458,172千円</p>
(5)施設の管理運営の内容	<p>①運營業務の状況(利用状況含む)</p> <p>◇利用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数 293,913人(前年度269,671人) ・稼働率37.8%(前年度38.5%) ・利用率68.8%(前年度69.0%) <p>◇業務実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の受付・利用許可、使用料の徴収 ・PR等情報提供、友の会運営、調査・評価・分析 ・各種文化芸術事業(公演・各種講座・展覧会)の実施 <p>②維持管理業務の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設管理業務(設備・警備・清掃)[毎日] ・機械警備業務[毎日] ・特殊建築物定期点検[1回/3年] ・建築設備定期検査[年1回] ・自動ドア保守点検業務[年4回] ・自家用電気工作物保安管理業務[年12回] ・中央監視設備保守点検[年1回] ・空調機保守点検業務[年2回] ・空調衛生用監視設備保守点検[年1回] ・各種水槽清掃[年1-2回] ・ポンプユニット定期点検[各年1回] ・雨水ろ過装置定期点検[各年6回]

	<ul style="list-style-type: none"> ・エレベーター・エスカレーター保守点検[年12回] ・消防設備保守点検業務[年2回] ・防火設備定期検査[年1回] ・舞台機構設備保守点検業務[年1回] ・舞台照明設備保守点検業務[年2回] ・舞台音響設備保守点検業務[年2回] ・ピアノ定期調律[年4回] ・噴水水景設備点検[年2回] ・植栽保守管理業務[通年] ・駐車場管制設備保守点検[年2回] ・一般廃棄物収集運搬処理業務[毎週] ・産業廃棄物収集運搬処理業務[年5回] <p>③その他の業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の主催事業は107事業を実施。内、地域や市民との協働事業は11件実施。 <p>⇒事業参加者数14,933名、事業アンケートでの「大変よかった」「よかった」レベルは97%を記録。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●15周年事業の実施 ・さいたま観光大使で漫画家のあらい太朗氏にデザインを依頼し15周年記念ロゴを作成。通年で広報物などに掲載し、15周年であることを周知した。 ・「プラザノース開館 15周年記念 Domain of Art 32 タムラサトル「Hi,Kumi, Hi,Mike.」」を開催した。年配から子どもまで幅広い年代層から 1,449 名が来場した。作家のタムラサトル氏が、中学 1 年の時に初めて学んだ英会話「Hi,Kumi, Hi,Mike.」に抱いた“よく分からない違和感”を、全長 25m、高さ約 4m もの巨大造形として表現し、見る者を圧倒した。 ●「ノースであそぼう！あーとひろばの日」開催 ・「さいたま市民の日」記念事業として今年で11回目となる「ノースであそぼう！あーとひろばの日2023」を開催した。近隣企業の協賛・地元中学校協力の下、ライブイベントやパレード、展覧会の他、施設利用者によるものづくりや音楽・ダンス体験を実施し、今年度も音楽やアート等多様な芸術文化に触れる機会を創出した。また、今年度はSDGsによせて、廃材を利用したパフォーマンス集団のWSも開催した。
(6) 収支状況	<p>①収入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理料458,172千円 ・文化事業費5,183千円 <p>②支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人件費95,974千円 ・文化事業費45,896千円 ・施設管理費237,421千円 ・その他支出70,476千円 <p>【自主事業】</p> <p>①収入4,539千円</p> <p>②支出3,736千円</p>
(7) 利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応	<p>貸出施設利用者の属性・利用状況・満足度を把握し運営業務の向上を目的とし、9月2日から30日にかけて貸出施設アンケートを実施した(配布枚数: 460枚、回収枚数: 443枚)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3リハーサル室の椅子の数を定員20名分設置してほしいという要望があったため、追加で貸出を行っていたものを20脚常設とした。 ・キッチンスタジオのコンロ故障に伴い使用不可期間へのコメントがあったが、新しいコンロと交換した。 ・書斎利用者より、書斎周辺での話し声がうるさいとの意見が複数寄せられたため、施設利用マナーアップキャンペーンを実施し、立ち話や子どもの走り回り等への注意喚起の他、職員による巡回を強化した。

(8)その他	<ul style="list-style-type: none"> ・授乳室や自動販売機等、わかりにくい場所にある施設や設備については新たにピクトグラムの案内表記を作成し館内に掲出した。 ・ノースギャラリーでの高所作業を行えない利用者のために、高所作業を伴わない展示方法を確認し打ち合わせ等で周知を行った。 ・絵画アトリエ利用者より、パレットを置く台の要望があったため、新たに8台常設した。 ・陶芸アトリエ利用者より棚板のヒビおよび表面の凸凹の指摘があり、棚板の新品購入と研磨による補修を実施した。
--------	--

2 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
施設広報誌の統合	情報紙「ノース*ノステル」のページ数を4ページから6ページに増やし、事業カテゴリをわかりやすく変更した。あわせて、別途発行していた「プラザノース通信」をノステルに掲載することで事業案内だけでなく貸館案内も充実させた。
有期的なつながりを創出する事業の実施①	大人から子どもまで楽しくSDGsに触れてもらうことと、近隣商業施設との連携による集客の相乗効果や地域活性化を目的とした「リアル謎解きSDGs アジェンダズと地球の危機に立ち向かえ」をステラタウン大宮と共同開催した。問題キット200冊はすべて配布、最終クリア人数は885名であった。
有期的なつながりを創出する事業の実施②	市民等の防災意識向上のため、「防災コンサートinプラザノース さいたま市消防音楽隊コンサート」を開催した。緊急地震速報や建物の崩壊音などを再現し、身をかがめて自身を守る「シェイクアウト訓練」を行った。通常のコンサートに加え、震災や緊急時の対応などの話を盛り込んだプログラムに満足度の高い声を多数いただいた。
市民の主体性の発揮を促す事業の実施①	市民の文化芸術活動の活性化を目的に「プラザノース with You コン서트」を開催した。出演者を公募制で集う新たな試みの公演で、募集対象はさいたま市にゆかりのあるアーティストとし、30組を超える応募者の中から選出された4組が出演。ポピュラーやクラシック、ピアノのデュオから和楽器のカルテットまで幅広いジャンルの演奏をお楽しみいただいた。
市民の主体性の発揮を促す事業の実施②	施設と市民が協働・能動的に参加する関係性へ変容させることを目的に「ボランティア養成『レセプションニスト講座』」を実施した。全4回のうち3回でレセプションニストとしての立ち居振る舞いを学び、最終回でホール公演「プラザノース with You コン서트」で学んだことを実践した。ホワイエ内外の案内や列整理担当として来場者対応を行った。
プラザノースならではの付加価値の提供	複合施設である特色を活かし北図書館との連携事業「北図書館連携企画『みんなにも読んでほしい！おすすめ本の紹介 POP をつくろう！』」を実施した。小学3年生から6年生を対象とし、北図書館の職員を講師に迎えて本のPOPを制作した。北図書館で本を借り、読み返したり考えたりしながら、マスキングテープやマジック、クレヨンなどを使って思い思いに制作した。作品は講座終了後、北図書館で展示した。
さいたま市の魅力ある資源の積極的な活用	「さいたま市の魅力ある資源の積極的な活用」を目指し、市民が魅力を発掘・発信し、さいたま市のPR紙をつくる「編集体験ワークショップ」を埼玉大学・(株)JTBパブリッシングと連携し実施した。観光ガイドブック「るるぶ」の編集者を講師に招き、埼玉大学広報サポーターが「カフェ」をテーマに市内各区のカフェを1店舗ずつ紹介するチラシを作成した。完成したチラシは、市内図書館や公共・文化施設に加え美術館・博物館や学校、マスコミ媒体各社へ送付し多くの人々へ訴求した。

3 評価

(1) 指定管理者による評価

- ①市民の平等利用については、「さいたま市コミュニティ施設条例」「同条例施行規則」、その他関連法令を遵守し、さいたま市の代行者として平等かつ公正な利用に努めた。また、施設利用について不当な差別的取扱いを行わないことはもちろん、コンプライアンスを徹底した管理運営を実施した。
- ②市民サービスの向上については、接遇研修において「お客様をまたせてしまう時の対応」や「高齢者への対応」など実践レベルの研修を外部講師を招いて実施し、スタッフ一人ひとりの接遇レベル向上に取り組んだ。
- ③利用促進については、施設情報紙「ノース＊ノステル」を6ページへ拡充し、事業・イベントの詳細情報と貸出施設情報を統一した紙面へ改修した。また、ホームページについてもより見やすい内容にリニューアルを行った。
- ④経費の削減については、ホール等の大規模諸室で利用終了後の照明・空調を速やかに落とす、アトリウム内の必要照度以上の400W水銀灯の取り外し、館内2階廊下部分の吹き上げ空調の停止等、日常的な節電行動を実施した。また、節電対策実施前(東日本大震災による)の平成22年度比で施設全体(北区役所、北図書館、その他)81.0%、その他のみ(北区役所、図書館を除いた部分)は86.0%となった。
- ⑤適正な管理運営の確保については、施設の安全を最優先に、迅速な修繕及び設備管理等に関わる法令等の遵守に努めた。また、関係各所と合同の消防訓練の実施に加え、個人情報保護やコンプライアンス研修を定期的に受講し危機管理意識の強化を図った。

(2) さいたま市の評価(評価担当課:スポーツ文化局文化部文化振興課)

総合評価(B) ※A~D

1 項目別の評価

(1)「市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進」に対する評価

- ・接遇研修において実践レベルの研修を外部講師を招いて実施し、職員の接遇レベル向上に取り組んだ。
- ・施設情報紙の拡充や、事業・イベントの詳細情報と貸出施設情報を統一した紙面へ改修し、ホームページについてもより見やすい内容にリニューアルを行った。
- ・施設稼働率及び利用率は昨年度から横ばいとなっているが、コロナ禍以前の利用水準を上回っており順調に推移している。

(2)「経費の削減」に対する評価

- ・節電を意識するなど、効果的な方策を検討し、適切に経費の削減に努めていた。

(3)「適正な管理運営の確保」に対する評価

- ・関係各所と合同の消防訓練の実施に加え、個人情報保護やコンプライアンス研修を定期的に受講し危機管理意識の強化を図るなど、安心・安全かつ適正な管理運営の確保に努めた。

2 総合評価

事業計画に沿って、適正に施設運営が行われている。

(3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

利用者の目線に立ってニーズの把握を行い、利用者満足度の向上を図るとともに、安心・安全な施設の維持管理に努めること。